

その他

- (1) 小中学校の熱中症、感染症等の発症状況について

小中学校の熱中症、感染症等の発症状況について

1 感染症罹患者数

4～7月における感染症による出席停止開始者数

| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 4～7月計 |
|--------------|----|----|----|----|----|-------|
| インフルエンザ | R5 | 15 | 3 | | | 18 |
| | R6 | 20 | 1 | | | 21 |
| 流行性耳下腺炎 | R5 | 1 | 2 | 2 | 1 | 6 |
| | R6 | 2 | | | 1 | 3 |
| 溶連菌感染症 | R5 | | 4 | 11 | 8 | 23 |
| | R6 | 18 | 24 | 22 | 7 | 71 |
| 新型コロナウイルス感染症 | R5 | | 7 | 20 | 64 | 91 |
| | R6 | 6 | 7 | 9 | 33 | 55 |
| 咽頭結膜熱 | R5 | | | 1 | | 1 |
| | R6 | | | | | 0 |
| アデノウイルス感染症 | R5 | | | | 1 | 1 |
| | R6 | | 1 | | | 1 |
| 水疱 | R5 | | | | | 0 |
| | R6 | 2 | | | 1 | 3 |
| マイコプラズマ感染症 | R5 | | | | | 0 |
| | R6 | | 1 | 2 | 1 | 4 |
| その他感染症 | R5 | | | | | 0 |
| | R6 | | | 1 | | 1 |
| 合計 | R5 | 16 | 16 | 34 | 74 | 140 |
| | R6 | 48 | 34 | 34 | 43 | 159 |

昨年度と比べ、出席停止者数は増加している。特に溶連菌感染症の増加が見られる。新型コロナウイルス感染症については昨年度より少ないが、7月に入り増加が見られる。

2 5～7月の保健室来室数（概数）

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 5～7月計 |
|-----|------|-------|-------|------|-------|
| 函南小 | 209人 | 387人 | 288人 | 242人 | 1126人 |
| 丹那小 | 24人 | 18人 | 12人 | 10人 | 64人 |
| 桑村小 | 54人 | 65人 | 86人 | 49人 | 254人 |
| 東小 | 54人※ | 152人 | 144人 | 104人 | 454人 |
| 西小 | 123人 | 209人 | 155人 | 124人 | 611人 |
| 函南中 | 140人 | 235人 | 256人 | 143人 | 774人 |
| 東中 | 159人 | 216人 | 243人 | 184人 | 802人 |
| 合計 | 763人 | 1282人 | 1184人 | 856人 | 4085人 |

※東小4/22～4/30は健診のため記録無し。

保健室来室数については春の運動会を開催している函南小、東小、西小において開催月の5月に増加している傾向がある。来室理由としてはけが、頭痛、腹痛、気分不調など多岐にわたる。

3 熱中症について

① 実際

救急搬送1名。熱中症が疑われる症状は7校合計で30名程度。

熱中症が疑われる場合の対応(軽度)

- ・水分補給、体を冷やすなどの対応の後保護者に引き渡し。
- ・洗顔等で顔のほてりを冷やし、検温。水分補給。保健室(冷えた部屋)で休養20~30分で様子をみた。→教室復帰。
- ・水分を取らせる。保冷剤で体を冷やす。安静にさせる。
- ・体の冷却、経口補水液を飲ませる。部屋を涼しくする。

② 対策

学校教育課からは、静岡県からの熱中症に関わる通知やガイドラインを周知すると共に、熱中症情報を毎朝各校へ連絡している。各校においてはそれらのガイドラインを基にして下記のような対策を行なっている。

熱中症に関わる各校の対策

- ・暑さ指数31度以上は、運動は禁止の放送。(外遊び、外体育、水泳指導)
- ・運動会や校外学習等熱中症対策の強化。(首を冷やす物等)
- ・水筒の中身をスポーツ飲料でも可とした。
- ・外遊び、体育の時の水筒持参
- ・エアコン及び扇風機の適切な使用
- ・熱中症指数の測定2回(結果により屋外での活動を禁止する)
- ・中休み前と昼休み前に熱中症チェッカーで熱中症指数を計測し、外遊びができるかどうかの判断をしている。職員室と昇降口に指数を掲示し、放送で水分補給を呼びかける。
- ・冷え冷えチャレンジというイベントを健康委員会で企画し、脇の下や手足の冷却する体験をした。スポーツ飲料を薄くした物を補給する体験会を行った。
- ・熱中症アラートが発令されている時、または、熱中症指数を測り高値の時は、屋外活動中止。
- ・休み時間や下校時に水分補給を呼びかける。
- ・登下校の際には、首を冷やせる物を身に付けてよいことにしている。